

オーストラリアレポート

鉄鉱石価格 2月中旬を高値に下落

豪州の金融政策や金利動向に影響を与える可能性も

- ▶ 製鉄の主原料である鉄鉱石の価格が下落している。最大の輸入国中国の需要鈍化観測やブラジルの増産等が主な要因と思われ、先高感の後退による在庫の投げ売り等で下落が続くことも想定される。
- ▶ 主要輸出品である鉄鉱石価格の下落が、豪州の金融政策や金利動向等に影響を与える可能性もある。
- 指標となる豪州産の鉄鉱石スポット（随時契約）価格は、最大の輸入国である中国の積極的なインフラ投資等による需要増に支えられ、昨年6月頃から今年2月中旬にかけ急上昇しました。しかしその後は調整局面入りし、5月11日時点では高値から3割を超す下落となっています（図表1、2）。中国の需要鈍化観測とブラジルの資源大手ヴァーレ等の供給拡大が主な下落要因になっているものと思われます。
- 人民元相場の急落を防ぐために中国政府は2016年半ばから海外送金等の規制を強化しており、行き場を失った資金が不動産市場にも流入し、主要70都市の新築住宅価格は騰勢を強めています（図表3）。4月25日の中国共産党の中央政治局会議で習主席が資産バブル抑制を強調する姿勢を示したこと等により、今後住宅市場の投資規制が強化され、鋼材需要を押し上げた不動産の開発が鈍化するとの見方が強まりつつあるようです。製鉄所が需要増加による鋼材価格の上昇を見込んで原料となる鉄鉱石の輸入を急いだことから、港湾在庫は過去最高水準に積み上がっていると見られており、先高感が後退すれば在庫の投げ売りに拍車がかかる可能性もあります。また、ブラジルの資源大手ヴァーレの増産等による供給拡大も需給を悪化させる要因と見られており、鉄鉱石価格の下落が今後も続くことが考えられます。
- 主要輸出品である鉄鉱石の価格上昇等により、豪州の貿易収支は昨年12月に過去最高の黒字額を計上し（図表4）、豪金利上昇（価格下落）の一要因になったと見られています。今後も鉄鉱石価格の下落が続くこととなれば、豪州準備銀行（RBA）の金融政策や金利動向等に影響を与える可能性もあります。

図表1：豪州産鉄鉱石価格の推移



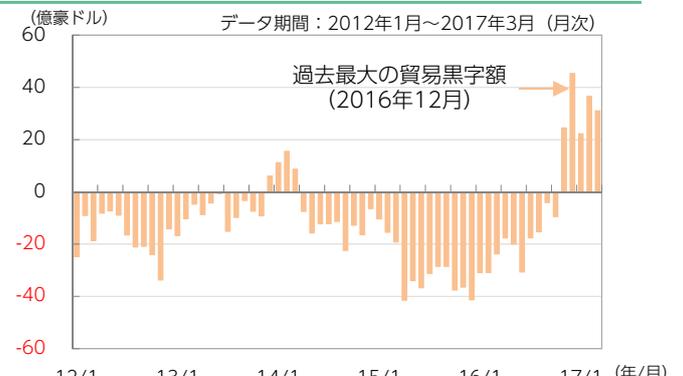
図表2：中国の鉄鉱石輸入量



図表3：中国新築住宅価格推移



図表4：豪州貿易収支



出所）図表1～4はブルームバーグデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会